

Abstract

総 説

成人血友病患者の機能的健康状態の評価：関節リウマチと変形性関節症の文献に基づく成人血友病患者のための予備的臨床測定ツールの開発に向けて

Assessing functional health status in adults with haemophilia: towards a preliminary core set of clinimetric instruments based on a literature search in Rheumatoid Arthritis and Osteoarthritis

P. de Kleijn, F. R. van Genderen and N. L. U. van Meeteren

血友病患者は、進行性に機能的健康状態が悪化する。機能的健康状態を定期的に臨床評価することにより、機能障害の進行過程に関する詳細な情報が得られると考えられる。したがって、これら进行评估するためのツールの中心的要素をまず確立しなければならない。本研究の目的は、臨床的に重要な情報をもたらす、かつ臨床適用可能な、成人血友病患者のための機能的健康状態評価ツールを確立するうえで、予備的にそのコアとなりうる既存のツール（ここではコアセットと呼ぶ）に関するデータを収集することと、それらの既存ツールの測定ツールとしての質（再現性、妥当性、鋭敏性）を評価することである。そこで我々は、血友病に似た2つの疾患、すなわち、関節リウマチおよび変形性関節症で頻繁に使用される臨床測定ツールに関する文献をレビューした。MEDLINEで広範に検索した結果、関連する総説13編が見いだされた。これらの文献には182種類の臨床測定ツールが含まれており、うち40種が血友病に適していると考えられた。これら40種のツ

ルのうち、3種は「身体構造」のドメインを測定するもの、13種は「身体機能」、19種は「活動能力（自らの仕事や行動を実行する能力と定義した）」（19種のうち5種は活動能力に基づいて評価するツールで、14種は自己報告に基づいて評価するツールであった）、また3種は「社会参加」を評価するツールであった。この分類法は国際生活機能分類（International Classification of Functioning, Disability and Health）に基づいている。これらのツールのうち、4つのツールは再現性、妥当性、鋭敏性に関する詳細な情報が記載されていたが、他の大多数のツールはこれらについて部分的に記載されているにすぎなかった。本レビューの結果は、成人血友病患者の機能的健康状態を評価する臨床測定ツールを確立するうえで、予備的にそのコアとなり得る部分を構築することに寄与すると考えられる。最終的なコアセットは、世界血友病連合（WFH）のMusculoskeletal Committeeで決定される予定である。